

日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第8号 2011. 1. 1



埼玉県のマスコット コバトン

CONTENTS

会長あいさつ	2
県知事メッセージ	3
東京会会長あいさつ	4
役員コラム	5
事業報告	6~7
新公益法人制度移行セミナー	8~9
埼玉友好士業協議会	10
県会行事	11~12
行事写真集	13
事務局だより	14~15
会員コーナー	16~17
県会業務推薦コーナー	18
役員等名簿	19
編集後記	20



新年のごあいさつ

日本公認会計士協会

埼玉県会 会長

荒井 伸夫

新年明けましておめでとうございます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに平成23年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より埼玉県会の事業及び会務にご協力をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

埼玉県会の会長に就任して2年目を迎えました。昨年度は9年振りに「第38回公認会計士フォーラム埼玉大会」の当番県会となり、副会長をはじめとする役員・会員の皆様のご協力を得て、無事成功裏に終了することができました。

本年度は、埼玉友好士業協議会の当番会が10年振りに公認会計士に巡ってきました。2回の幹事会の設定から「暮らしと事業のよろず相談会」、埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会と順調に進み、多勢の会員の参加協力を得て、専門士業団体の相互の理解と協調、社会的使命の達成という協議会の目的を完遂できたのではないかと思います。詳細は特集ページをご覧ください。

平成20年12月1日に公益法人制度改革3法が施行され、2年を経過いたしました。埼玉県内の移行申請状況はまだ低調なようです。近年公認会計士の役割が地域社会に認められてきたためか、今年度も埼玉県をはじめとする地方自治体及びその関連団体からの監査委員や外部監査人、監事や各種委員等の業務推薦依頼が多数寄せられています。この様ななかで、埼玉県会としては、地域社会への貢献の一環として、県内の特例民法法人を対象に新制度移行への支援のためのセミナーを昨年8月末に開催しました。

単なる一方通行の講演会ではなく、質疑応答や懇話会、あるいは後日の個別相談会まで設定し、かつ、会員から相談員を募って事前研修を行ないました。先ず自分たちが勉強し、奉仕活動を行ない、その後で仕事にも結びつけばいいという考え方です。相談員はフレッシュな会員の参加も得て30名を越え、しかもほぼ全員が

ハードな研修講演スケジュールを休むことなく出席したのには驚きました。埼玉県会にとって得られたものは多かったと思います。県会事務所を拠点とした本部インターネット中継やDVD研修、川越巡回研修など、CPE40単位取得に向けた研修体制も充実してきました。

広報活動では、第8号となる埼玉県会CPAニュースの発行や川越市・川口市の市長を地元の会員と一緒に表敬訪問しました。今後ともいろいろな市の首長への訪問を継続し、県内の公認会計士の活動をPRしていきたいと思っています。

東京会の組織ガバナンス改革の一環として本年度から県会ブロックが発足し、ブロック長には東京会副会長の蛭川先生（埼玉県会顧問）が就任しました。公認会計士フォーラム群馬大会当日に第1回ブロック会議が開催され、公認会計士フォーラムの今後のあり方や県会ブロックの今後の運営などを議論しました。事業内容や予算などまだ詳細は決まっていますが、県会の地域会化も議題にあがりました。地域会化に向けた検討委員会を設置した県会もあります。埼玉県会としても会の将来にかかわる大事なテーマです。地域会化によるメリット、デメリットを研究し、会員の皆様と役員会等で議論をして行きたいと思っています。副会長をはじめとした一部の役員に、かなりの負担がかかっている現状のなかでどのように人的資源を確保できるのか、問題解決のために是非忌憚のないご意見をお願いいたします。

今後とも、研修と親睦を両輪としながら業務と広報を充実させていく所存でございます。本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新しい時代の扉を開く ～自立自尊の埼玉を創る～

埼玉県知事
上田 清司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成23年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

著しい円高など企業を取り巻く環境が急激に変化する中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。皆様が社会の要請に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

去年は小惑星探査機「はやぶさ」が歴史的な快挙を達成しました。埼玉県も、これまで以上に飛躍する年にしたいと思います。

この20年で日本を取り巻く状況は大きく変わりました。生産年齢人口の減少や新興国の台頭により、日本経済は厳しい状況に置かれています。

今こそ、日本をどのような国に変えていくのかという根本的な問題に正面から取り組まなくてはなりません。

「地方、会社や団体、そして一人の国民として何ができるのか」と自立自尊の精神で考え、行動する 때가来ています。

キーワードは「世界」と「人材」です。

まず「世界」ですが、世界の経済は一つに向かっています。上海ビジネスサポートセンターなどを足がかりに県内企業が世界に進出する状況をつくり出すとともに、強い埼玉農業をつくるのが重要です。

また、環境問題が世界の大きな課題になっています。埼玉版グリーンニューディールを進め、成

長と環境が調和した社会の姿を示していきます。

「人材」は、日本が世界に誇る最高で最大の資源です。グローバル人材を育成するため、どこにも負けない海外留学支援などできる限りの手を打っていくつもりです。

このような「未来への投資」と併せて「暮らしの安心・安全」は今まで以上に重要になります。「雇用ニューディール」を更に進めるほか、きめ細かい就業支援を徹底します。

「防犯パトロール」や「みどりと川の再生」、「地域支え合いの仕組み」などで大きな成果を挙げたように、県民の皆様や地域のパワーは埼玉を大きく変える力を持っています。こうした共助の輪を更に広げていきたいと思っています。

去年は、本県の子育てムーブメントが高く評価され「につけい子育て支援大賞」を受賞しました。官民一体の取組による「カーナビ活用による危険箇所の解消」は全国知事会先進政策大賞に輝きました。県と民間の方々が知恵を出し合うことで、1 + 1が3にも4にもなることを実証しました。

地域主権は日本を変える大きな力となるものです。地方が思い切った政策をどんどん実行し、その成功モデルを国に突きつけることが第一歩です。

幸いこれまで、皆様とともにどこにも負けない埼玉を築いてくることができました。こうした土台を更に強固なものにした上に、世界に羽ばたく埼玉を目指していきます。一緒に新しい時代の扉を開き、明るい未来への第一歩を踏み出しましょう。



年頭のご挨拶

日本公認会計士協会
東京会 会長

小西 彦衛

新年おめでとうございます。

埼玉県会の皆様には、新しい年を健やかに
お迎えのことと存じます。

私ども執行部も新しい役員体制になって初
めての新年を心あらたまる気持ちで迎えてお
ります。

公認会計士業界をとりまく環境に鑑みて、
いくつかの課題がありますが、本年も前向き
に取り組んでまいります。

公認会計士の業務面からは、依然として厳
しい経営環境にある中小企業等に対して、有
用な助言等による支援が必要とされていると
思います。また、非営利事業体による社会活
動に対する関心も高まっており、公的部門を
含めて、的確な会計監査と助言を提供する機
会が増えていると思います。このために会員
各位が地域の経済社会への役立ちも心がけ
ていることと存じます。このような業界環境
の中で東京会として、埼玉県会と協働して、会
員各位の業務支援と業務拡充に努める所存で
す。

昨年来、公認会計士試験合格者の就業問題
を契機に、公認会計士試験と資格制度に関す
る提言がまとめられました。同じ時期に公認
会計士の税理士資格に関する意見が公表され
ています。当協会はこれらに対する意見を表
明しました。この問題は慎重に検討しなければ
ならず、職業資格とは何かを考える機会に
なっています。

今年度の重要な施策に地区会のブロック制
があります。埼玉県会が県会ブロックに所属
していることはご存じのとおりです。埼玉県
会所属の蛭川俊也東京会副会長が県会ブロッ
ク長です。公認会計士フォーラム群馬大会の
際に、県会ブロック会議を開催して、運営体
制を決め、その活動等について議論していただ
きました。広域の9県会で構成する県会ブ
ロックに特有のこともあると思います。大き
な目的は、端的には東京会内ひいては協会内
の情報と意見の交流の改善、協会本部と会員
各位の距離を縮めることです。一部の県会
では地域会化を検討するプロジェクトチームを
編成して、調査を開始しています。

本部の財政構造改革大綱にもとづく地域会
交付金の新たな算定方法によると、東京会の
本部交付金収入が大幅に減額されます。現下
の諸情勢に対応した事業計画に基づいて、支
出予算を点検し、そのうえで、財政に余力が
あれば、その程度を量って、東京会の事業と
会務の充実と改善のために有効活用したいと
思います。

各地区会の会員構成に変化の兆しがある
と思われます。監査法人等を退職し、あるいは
転職に際して、居住地を事務所所在地として
登録する会員が増えるものと思われます。埼
玉県会では在住会員制度の発足時から在住会
員の受け入れを図っていただきました。現在
の会員動向を想定して先取りした県会の施策
と受け止めています。

昨年6月に県会事務所を訪問しました。研
修会等を行いやすい明るい事務所です。会員
の皆様がL I V E中継による全国研修会を受
講中で、有効に活用していることが分かりま
した。県会事務所の運営に携わっている役員、
職員の皆様に感謝いたします。

本年も埼玉県会の皆様とともに明るい年に
しましょうと申し上げて、新年のご挨拶とい
たします。



県会ブロックの 活性化

日本公認会計士協会
東京会副会長
埼玉県会顧問

蛭川 俊也

昨年の東京会役員選挙にあたって諸先生方からのご支援を賜り再度副会長に就任させて頂きました。

会務執行にあたり、皆様方のご協力に感謝申し上げます。会員・準会員に直接関係のある重要な継続審議事項もありますので、引き続き厚生部と経理部を担当することになりました。過去3年間に行ってきた福利厚生事業を見直し整理・拡充し、経理部については財政構造の将来の方向性について検討し、推進していきたいと思っています。

周知のように日本公認会計士協会は単一会であり、肥大化した東京会の会務及び業務の重点は、どうしても東京都内が中心であります。

周辺の9県会等は行政も独立し、地方分権移譲、地方財政健全化等の問題もあって独自の活躍が期待されています。

昨年度からの東京会の組織ガバナンス改革において、東京都の行政区画を基準とした地区会を東京会中選挙区を単位として5つの特別部会（以下、ブロックという）に分け、都内の23地区会を4つのブロック、9県会を1つのブロックにグルーピングしました。

今年度はブロック活動の始動として、県会ブロック長は私が担当しますが、地区会長を中心にして副ブロック長、業務執行役員を選出してブロック体制を構築し、活動計画を策定していきます。

ブロックの活動内容として会員への情報の

伝達及び意見の収集を強化し、会員相互の親睦を図り、研修及び親睦イベント等ブロック支援を推進し、より一層活性化していきます。

ブロック事務局はブロック役員の会務の増加を防ぐため、東京会事務局内にブロック事務局機能を置き、当面総会は開催せずブロック機能を充実させます。

又、県会ブロックについては上記の活性化策に加え、大規模県会の地域会への移行について模索・検討し地域会への方向性をつけたいと思います。

周知の通り地域会は協会組織における支部であり、基本的には財務省の財務局等管轄地域ごとに置かれていますが、協会本部理事会の決議によって分割・統合ができます。又、協会会則によって地域会の中に地区会及び特別部会（ブロック）が設置されています。

過日の群馬フォーラム開催前日に行われた第1回県会ブロック会議において県会が地域会化する場合の留意事項として、下記事項が話し合われました。

- ・本部役員の要員になる人的リソースの継続的な提供
- ・地区会に比して会務が増大する
- ・財政構造と所属会員の会費負担
- ・地域会の諸手続、規約・細則の作成に対する東京会の支援
- ・正味財産、県会借室保証金、会員厚生自家保険引当資産等の引継ぎ
- ・研修、厚生事業等の東京会との共同運営
- ・東京会事務局への委託業務
- ・東京会との情報ネットワーク共同化等

埼玉県会は東京に隣接する県であり、会員の急増も見込まれ、豊富な人材を有し人的リソースの継続的提供、会務及び財政的負担の増大も可能と思われるので、地域会化について具体的に検討する時機に来ていると思います。

平成21年度 事業報告

(H21. 4. 1 ~ H22. 3. 31)

1. 会員及び準会員数（平成22年3月31日現在）

会 員	4 4 8 名
準 会 員	1 0 6 名
合 計	5 5 4 名
在 住 会 員	3 8 名

物 故 会 員	高尾 賢 殿（平成21年4月27日） 勝田 重道 殿（平成21年10月6日） 田中 宏 殿（平成22年2月6日）
---------	--

2. 事業報告（及び活動報告）

平成21年	4月5日(日) 親睦ゴルフ会（大麻生ゴルフ場）
	4月14日(火) 埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
	4月15日(水) 定例常任幹事会 埼玉県総務部へ、埼玉県熊谷地方庁舎ほかエコオフィスを改修事業提案選定会議の委員を推薦
	4月20日(月) 埼玉県福祉部へ、埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会委員の推薦
	4月24日(金) さいたま市改革推進室長他と面談 埼玉県会活動報告会及び懇親会
	4月27日(月) さいたま市指定管理者審査選定会議委員の推薦
	5月11日(月) 所沢市指定管理者選定会議委員の推薦
	5月19日(火) 東京会定期総会議長団打合せ
	5月23日(土) 飯能新緑ツーデーマーチ
	5月29日(金) 埼玉県産業労働部と面談
	6月3日(水) 定例常任幹事会
	6月5日(金) 東京会定期総会
	6月10日(水) 監事監査
	6月11日(木) 協会本部木曜講座（CS中継）
	6月12日(金) 月次勉強会（会計委員会答申書詳細解説・DVD） 推薦委員会（埼玉県会役員改選）
	6月25日(木) 協会本部木曜講座（CS中継）
	7月2日(木) 定例常任幹事会
	7月3日(金) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター主催講演会
	7月4日(土) 親睦ゴルフ会（熊谷ゴルフクラブ）
	7月8日(水) 協会本部定期総会（CS中継）
	7月11日(土) 役員会、定期総会、懇親会 研修会（学校法人監査におけるリスクアプローチ）
	7月14日(火) さいたま市長表敬訪問
	7月17日(金) 埼玉県都市整備部と面談
	7月18日(土) 公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員会
	7月22日(水) 公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員会
	7月27日(月) 東京会役員会・地区会長会議
	7月31日(金) 埼玉りそな銀行本店訪問
	8月4日(火) 定例常任幹事会、埼玉県信用保証協会へ委員を推薦
	8月5日(水) さいたま地方法務局へ委員を推薦 埼玉県企画財政部へ委員を推薦
	8月6日(木) 埼玉県都市整備部へ委員を推薦
	8月10日(月) 公認会計士フォーラム埼玉大会への後援を依頼 （埼玉県商工会議所連合会・埼玉経済同友会、埼玉県経営者協会）
	8月18日(火)~20日(木) 協会本部夏季全国研修会（CS中継）
	8月20日(水) さいたま地方法務局と面談、委員会委員を推薦
	8月25日(火) 正副会長会議
	8月27日(木) 関東財務局と面談
	9月1日(火) 埼玉県商工会議所連合会と面談
	9月2日(水) 埼玉新聞社・パレスホテル大宮と打ち合わせ
	9月4日(金) 公認会計士フォーラム埼玉大会県会実行委員会
	9月7日(月) 学校法人連絡協議会に出席
	9月9日(水) 埼玉友好士業協議会幹事会
	9月11日(金) 関東財務局と面談
	9月15日(火) 埼玉県知事訪問
	9月24日(木) 公認会計士フォーラム開催について各所に挨拶

平成21年	10月1日(木) 公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員会
	10月7日(水)~9日(金) 協会本部秋季全国研修会（CS中継）
	10月7日(水) 公認会計士フォーラム埼玉大会司会打ち合わせ
	10月13日(火) 埼玉友好士業協議会幹事会
	10月14日(水) 9県会会長会議、東京会役員会
	10月14日(水) 第38回公認会計士フォーラム埼玉大会、懇親会
	10月15日(木) 親睦ゴルフ大会（霞ヶ関カンツリー倶楽部）、観光
	10月26日(月) 埼玉県公益法人認定等審議会の委員を推薦
	10月29日(木) 東京会役員会
	11月2日(月) 定例常任幹事会、フォーラム慰労会
	11月3日(土) 日本スリーデーマーチ（東松山）、懇親会
	11月5日(木) 埼玉友好士業親睦ゴルフ大会（鴻巣カントリー）
	11月10日(火) 埼玉県農林公社へ外部監査に係る公認会計士・監査法人を推薦
	11月14日(土) 埼玉友好士業「暮らしと事業のよろず相談会」
	11月16日(月) 埼玉弁護士会所属の弁護士事務所（民事再生）に公認会計士を紹介
	11月26日(木) 9県会会長会議
	11月30日(月) 東京会C P E 推進会議
	12月1日(火) 定例常任幹事会、法テラス地方評議会
	12月8日(火) 日本赤十字社埼玉県支部監査委員の推薦
	12月9日(水)~11日(金) 協会本部冬季全国研修会（CS中継）
	12月12日(土) 推薦委員会（本部及び東京会役員改選について）
	12月12日(土) 定例研修会（法人税事例について）、忘年会
	12月15日(火) 東京会地区会長会議、役員会
	12月16日(水) 埼玉県包括外部監査人候補者の推薦
	12月16日(水) 独立行政法人農林水産消費安全技術センター契約監視委員会委員の推薦
	12月22日(火) 日本赤十字社埼玉県支部と面談
	1月1日(金) 埼玉県会C P A ニュース第7号発行
	1月7日(木) 関東財務局表敬訪問、埼玉新聞主催賀詞交歓会
	1月12日(火) 所沢市役所と面談
	1月19日(火) 東京会役員会・地区会長会、新年会
	1月21日(木) 協会本部新春全国研修会（CS中継）
	1月29日(金) 埼玉県廃棄物処理経理専門委員会委員の推薦
	2月1日(月) 埼玉県保健医療部と面談
	2月3日(水) 定例常任幹事会
	2月8日(月) 公立大学法人埼玉県立大学へ監事の推薦
	2月12日(金) 東京会論説委員会・懇談会
	2月18日(木) 定例研修会（幼稚園法人の検査と財務状況について 学校法人監査・会計・経営における諸問題と対応）
	2月22日(月) 埼玉県社会福祉事業団の監事候補者の推薦
	2月23日(火) 所沢市指定管理者選定会議委員の推薦
	3月3日(水) 川越市産業廃棄物指導課と面談
	3月4日(木) 川越市廃棄物専門委員会委員の推薦 農林水産省入札等監視委員会委員の推薦
	3月16日(火) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター交流会
	3月24日(水) 定例常任幹事会
	3月24日(水)~26日(金) 協会本部春季全国研修会（CS中継）
	3月30日(火) 東京会役員会・地区会長会

平成22年度 中間事業報告

(H22. 4. 1 ~ H22. 11. 30)

1. 会員及び準会員数 (平成22年11月30日現在)

会 員	4 8 6 名
準 会 員	1 1 1 名
合 計	5 9 7 名
在 住 会 員	4 1 名

2. 事業報告 (及び活動報告)

平成22年	4月6日(火)	川越市長表敬訪問
	4月8日(木)	川口市長表敬訪問
	4月9日(金)	月次勉強会 (集合研修DVD) 監査の品質管理研修
	4月11日(日)	親睦ゴルフ会 (吉見ゴルフ場)
	4月12日(月)	埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業 提案選定会議委員の推薦
	4月21日(水)	東京会役員会
	4月24日(土)	正副会長会議
	5月10日(月)	定例常任幹事会
	5月12日(水)	埼玉県再生支援協議会「全体会議」
	5月14日(金)	監事監査
	6月8日(火)	東京会役員会、定期総会
	6月10日(木)	定例常任幹事会
	6月11日(金)	協会本部全国研修会 (ライブ配信)
	6月16日(水)	川越市公開事業点検に係る点検人、川越市外郭団体 検討委員会に係る外部委員の推薦
	6月24日(木)	協会本部全国研修会 (ライブ配信)
	6月25日(金)	埼玉県県民健康福祉村指定管理者選定委員会委員の 推薦
	6月26日(土)	役員会、定期総会、懇親会 研修会 (知っておきたい I F R S の基礎知識)
	7月1日(木)	公益法人勉強会第1回
	7月7日(水)	協会本部定期総会 (ライブ配信) 埼玉友好士業協議会定例会・懇親会
	7月8日(木)	自民党塩崎議員が埼玉県会を表敬訪問
	7月20日(火)	埼玉県社会保険労務士会と埼玉友好士業協議会当番 会引継ぎ 地区会長会議、東京会役員会
	7月23日(金)	埼玉県福祉部障害者福祉推進課指定管理者 選定委員会委員の推薦
	7月29日(木)	公益法人勉強会第2回
	7月30日(金)	所沢市と面談、埼玉県都市整備部と面談
	8月3日(火)~4日(水)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)
	8月3日(火)	平成22年度埼玉県営公園指定管理者候補者 選定委員会委員の推薦
	8月5日(木)	埼玉県社会福祉総合センター指定管理者候補者 選定に係る選定委員会委員の推薦
	8月11日(水)	正副会長会議、さいたま地方法務局と面談
	8月13日(金)	埼玉県長瀬総合射撃場クレール射撃場のあり方検討委 員会委員、埼玉県防災学習センター指定管理者候補 者選定委員会委員、さいたま地方法務局へ公共サー ビス改革法に基づく民間競争入札における評価委員 会委員、埼玉県青少年総合野外活動センター指定管 理者候補者選定委員会委員の推薦
	8月17日(火)	定例常任幹事会、公益法人勉強会第3回、懇親会
	8月19日(水)~20日(金)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)
	8月30日(月)	埼玉県、さいたま市を訪問
	8月31日(火)	実践! 「新公益法人制度」移行セミナー及び懇話会
	9月7日(火)	公益法人制度の認定・認可に係る研修会
	9月9日(木)	新公益法人制度移行についての個別相談会
	9月14日(火)	埼玉友好士業協議会幹事会

平成22年	9月15日(水)	埼玉県教育局と面談、埼玉県農林部へ埼玉県指定管 理者候補者選定委員会委員を推薦
	9月24日(金)	定例常任幹事会、月次勉強会 (DVD研修) 職業倫理に係る具体的な諸規則と事例
	9月27日(月)	埼玉県教育局へ埼玉県立げんきプラザ指定管理者 選定に係る審査委員を推薦
	10月6日(水)~8日(金)	協会本部秋季全国研修会 (ライブ配信)
	10月12日(火)	埼玉友好士業協議会幹事会
	10月14日(木)	9県会会長会議、移動役員会 第38回公認会計士フォーラム埼玉大会、懇親会
	10月15日(金)	親睦ゴルフ大会、観光
	10月20日(水)	所沢市包括外部監査人の候補者を推薦 東京会学校法人監査連絡協議会
	10月23日(土)	巡回研修会川越大会 (中小企業経営者の銀行との付 き合い方)、懇親会
	10月27日(水)	定例常任幹事会
	10月28日(木)	埼玉県住宅供給公社へ外部監査人候補者を推薦
	10月29日(金)	(社福) 埼玉県社会福祉事業団へ外部監査人を推薦
	11月1日(月)	埼玉県住宅供給公社へ外部監査人候補者を推薦
	11月7日(土)	日本スリーデーマーチ (東松山)、懇親会
	11月11日(木)	(財) 埼玉県教職員互助会と面談、外部監査人を推 薦
	11月12日(金)	埼玉県知事特別秘書と面談
	11月13日(土)	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談 会」
	11月15日(月)	埼玉県宅地建物取引業協会法定講習会の講師の推薦
	11月18日(木)	埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会 (鴻巣カント リー)
	11月26日(金)	月次勉強会 (DVD研修) 中小企業における事業承 継対策の事例及びその税務上の効果や影響について
	11月30日(火)	埼玉新聞社会福祉事業団へ埼玉友好士業協議会親睦 ゴルフ大会チャリティ募金を持参



埼玉県のマスコット コバトン

◆セミナー開催にあたって

副会長 西川 正純

埼玉県会では、平成22年8月31日に大宮ソニックシティ小ホールにおいて、県会主催の公益法人移行セミナーを開催しました。これは、近年の公認会計士に対する社会貢献という要請の変化をうけ、県会が会員のための組織といういままでの存在から、埼玉県内において地域貢献をも行っていく組織へと変わっていく第一歩となるべく行なったものです。

今回のセミナーは、新公益法人制度への移行準備を進めている県内の特例民法法人（旧公益法人）に対し、新制度への移行支援として実施したもので、47社の法人と2自治体より約100名の参加がありました。また、会員へもセミナーの案内を行ったところ、県内会員及び事務所職員のほか他県会からも参加があり、63名の参加のもとに行われました。

セミナー開催後、9月9日に実施した相談会には、新制度への移行準備を始めようとしている法人や新制度への移行準備に入った法人10社からの相談の申し込みがあり、1社当たり45分ほどの相談時間を設けていましたが、相談が1時間にも及んだ法人もあるなど、セミナー、相談会ともに十分な成果を上げる事が出来ました。



勉強会（平成22年7月1日、7月29日、8月17日、9月7日）

副会長 平山 孔嗣



県内の公益法人に対して開催する公益法人移行セミナー相談員希望者を埼玉県会会員に募ったところ予想を上回るご協力をいただき大ベテランの会員から開業間もない新進気鋭の会員までバラエティに富んだすごいチームが集うこととなりました。公益法人移行支援業務はベテランというものが存在せず、数少ない実務経験や知識の習得が基盤となります。

今回、経験もばらばらであったため、相談員としてのコンセンサスを得るために、基礎知識の復習と確認、資料集の整備及びディスカッションによる経験の共有化を主眼として勉強会を開催いたしました。私も講師を命ぜられても若干の支援実務とにわか勉強のため、頼りないものでしたが参加者の熱心さに助けられました。

内容は、法令、スケジュール等の確認から法人が目指す新法人の形ごとのポイントを検討して行きました。勉強会は、先行して公益認定を実現させた会員の貴重なご意見等にご後押しされ、多数の会員から建設的なご提案などがなされ、活発な議論がされるなど他ではなかなか見られない非常に質の高い勉強会となりました。すばらしい相談員チームの基礎が自発的に作られたかな、と感じました。これは、多少歩留まりを計算に入れていたのに、ほとんど本番の移行セミナーに相談員として参加いただき、県会の底力を見せられたことで証明されたと思います。



実践！「新公益法人制度」移行セミナー（平成22年8月31日）

埼玉県公益法人認定等審議会委員 河合あゆみ

新公益法人制度が平成20年12月に施行されて、1年8カ月が経過した平成22年8月31日（火）、大宮ソニックシティ小ホールで埼玉県会主催の“実践！「新公益法人制度」移行セミナー”が開催されました。

開催に先立ち、挨拶として荒井伸夫会長が当セミナーを開催した熱い思いを語られ、続いて私が埼玉県の移行認定・認可の申請状況等について申し上げます。

続いて、県会会員で前内閣府公益認定等委員会委員長代理の佐竹正幸先生から新公益法人制度についての概要を、同委員会事務局大臣官房公益法人行政担当室の公認会計士松前江里子・齊藤健先生が公益法人移行認定及び一般法人移行認可についてそれぞれご講義頂きました。三先生とも制度改革から現在まで最前線でご活躍されており、また公認会計士協会の各種研修でも講義され、会員からも「分かりやすい」と評判の先生方で、参加法人の方々だけでなく私達会員も大変勉強になりました。

後半は、佐竹・松前・齊藤先生をパネリストに迎え、参加された約50法人との質疑応答がパネル・ディスカッション形式で行われました。次々と挙げられる具体的な質問に対して三先生が実際の事例を踏まえて親切丁寧な回答をして下さり、会場の熱気が当初の予定を延長させ、その後の懇親会也大いに盛り上がりました。

埼玉県は他県同様、申請の出足が当初予定より遅い状況ですが、今回のセミナーを通して、やはり意思決定はしているものの、物理的・人的制約の中で手続を進めなければならず、その上相談できる受け皿も少ない為、中々前進出来ない法人が多いのだと痛感しました。その様な状況の中、今回のセミナーを通して法人の方々のお役に立てた事は、埼玉県会の活動の基本方針「公認会計士の社会的・公共的使命を自覚し、公認会計士業務を通して、地域社会に貢献する」に沿ったものだと思います。

最後になりましたが、今回のセミナーに外部からご協力を賜りました内閣府公益認定等委員会、埼玉県総務部文書課公益法人認定等審議会事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。



個別相談会（平成22年9月9日）

副会長 佐久間仁志

8月31日の公益法人移行セミナーを受けて、事前に相談申し込みをした10法人を県会研修室に招き、個別相談会を実施しました。1法人当たり約1時間の相談時間で、法人の特性はありますが、おおよそ次のような相談内容が示され、21人の担当相談員が各々親身になって回答しました。

①移行認定にあたりどこに相談すべきか。②移行認定の委託料はどのくらいか。③非常勤理事の解任の可能性について。④当法人の事業は、公益目的事業に当たるのか否か。また受託事業の課題は何か。⑤公益財団に移行した場合、行政庁の指導監督が厳しく、提出書類も増えるのでは。⑥公益認定のメリット・デメリットは。⑦公益認定財団か一般財団かどちらを選択すべきか。⑧収支バランスが悪いのでどう改善すべきか。⑨公益目的財産額の算定にあたり積立不足が生じているがどう考えたらいいか。⑩補助金と公益目的事業との関係。⑪経理及び諸規定が部門で異なっているので、統一すべきか。⑫会計事務に関してアウトソーシングから自計化を考えているが、会計制度の見直しはどう考えるか。⑬移行後のH20年会計基準の導入義務について。⑭一般財団へ移行することに決めたが選択に誤りはないか。⑮一般財団へ移行する場合、事業の区分けは必要か。⑯一般財団移行した場合、収支予算書の取扱い。⑰認定日・認可日については柔軟な対応があるか。

以上のような相談内容を回答することにより会計士の期待される地域社会貢献機能の一端を発揮できた相談会となりました。



よろず相談会

常任幹事 土屋文実男

平成22年11月13日にJR浦和駅西口前コルソ7階ホールにて、埼玉の友好士業による「暮らしと事業のよろず相談会」が開催されました。

この相談会は、埼玉の友好10士業各会がそれぞれ職域の専門性を活かし、共同で県民・団体等からの相談に無料で応じるもので、県民に広く相談の機会を提供し、併せて各士業の事業及び制度についても知って頂くとするものです。

平成22年度は、我々日本公認会計士協会埼玉県会が当番会となっており、20名あまりの会員の先生に会場の設営から運営スタッフとしてご協力頂きました。

各士業の相談担当者数は、埼玉弁護士会18名、埼玉司法書士会12名、埼玉土地家屋調査士会4名、関東信越税理士会埼玉県支部連合会4名、埼玉県行政書士会2名、埼玉県社会保険労務士会3名、日本公認会計士協会埼玉県会20名（運営スタッフを含む）、（社）埼玉県不動産鑑定士協会5名、埼玉公証人会1名、（社）中小企業診断協会埼玉県支部2名の合計71名の士業の先生方にご協力頂きました。

この相談会は、各士業が協力し合い、ワンストップで相談事例に応じるところに特徴があります。実際に、相談者の方が複数の士業ブースを行きかう姿が見受けられました。

おかげさまで相談者数は91名におよび、相談者からは、懇切丁寧な説明を受けてありがたかったと感想を頂きました。

相談事例ベスト3は、相続（遺言）贈与問題、税金、親族・離婚・夫婦問題の順序で例年と大きく変わりませんが、不動産売買・賃貸問題の相談件数が少なくなったことが今年の相談事例の特色でした。



埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会

副会長 平山 孔嗣



❖平成22年11月18日 鴻巣CC

雨や寒さが若干懸念された開催当日でしたが、ご参加の皆様のご協力によって絶好のコンディションで大会を迎えることができました。総勢17組67名が足取り軽くアウト、インに分かれて7時35分定刻にスタートして行きました。親睦を主目的としているため各士業重ならないように組み合わせを工夫いたしました。大会前は土地家屋調査士会の連勝になるかどうか注目が集まっておりましたが、各士業この日のために精鋭陣を繰り出してきており団体戦は伯仲したものとなりました。結果は、優勝が行政書士会で準優勝が土地家屋調査士会となりプロ野球同様下剋上がなされました。当番会の会計士会は早朝よりの準備やホストとしての立場上、通常より多少親睦を意識したスコアとなり4位となりました。せっかく会計士会の発案で作成した持ち回りの優勝カップを一時行政書士会に預けることとなりましたが、次回までには日夜練習を重ね覇権を目指して行きたいと参加者一同強く誓い合いました。

めったにない秋の良き日に、1日よい環境の中で過ごせたこと、関係各位のご協力で事故もなく無事パーティーまで円滑に終えられたこと、チャリティーも予定通り集まって埼玉新聞社を通じて貢献できたことなどすべてに感謝いたします。

(個人ベスト3)

- 1位 山本義幸氏（土地家屋調査士会）
- 2位 金子 博氏（土地家屋調査士会）
- 3位 秋山雄一氏（行政書士会）

(団体ベスト3)

- 1位 行政書士会
- 2位 土地家屋調査士会
- 3位 税理士会

■ 定期総会 ■

副会長 小山 彰

平成21年度定期総会は昨年6月26日（土）にKSビル（サイサン本社）ホールにおいて午後1時15分から60名の出席者を得て開催されました。

同総会は平山副会長の司会で進められ、荒井会長の挨拶の後、総務担当の私が議案の説明を行い、会員の皆様の慎重な審議を経て、下記の4つの事項を承認・可決しました。

- ① 平成21年度会務報告
- ② 平成21年度収支計算書
- ③ 平成22年度事業計画
- ④ 平成22年度収支予算書

審議後には東京会の蛭川副会長が来賓として祝辞を述べられ、午後2時半に定期総会は終了しました。

引き続き、午後3時から定例研修会が行われました。テーマは「知っておきたいIFRSの基礎知識」で、協会本部IFRSデスクの吉田健太郎先生を講師にお招きして熱心な講義をしていただきました。

また、4時45分から15分余りの時間で、小西彦衛東京会会長による東京会の会務報告が行われました。

さらに、5時半から懇親会が開催されました。懇親会は、親睦担当の平山副会長の司会のもと、終始和やかな雰囲気の中で進められ、荒井会長の挨拶、来賓の方々のご紹介・ご挨拶、多田元会長の乾杯の音頭と続き、しばしの歓談の後、宮原前会長の中締めで終了しました。とくに今年度は来賓として千葉県会の大島会長と岡田副会長にお越しいただきました。今後の東京会の地区会ブロック内の交流を深める礎になることが期待されます。

懇親会に出席していただいたご来賓の方々には以下の通りです。

吉田 健太郎先生（講師、本部IFRSデスク）
樋口 尚文氏（本部IFRSデスク）

小西 彦衛 東京会会長
蛭川 俊也 東京会副会長
大島 良弘 千葉県会長
岡田 敏男 千葉県会副会長
小野 利也 東京会総務課長



2月定例研修会

副会長 西川 正純

会員の皆様には、日々県会会務にご協力いただきありがとうございます。県会では、定例的な会員研修を2月に実施しています。この研修では、毎年埼玉県総務部学事課より講師を招き、県内の幼稚園法人について、県の検査指導等の説明をしていただいています。昨年度は平成22年2月18日に、県の検査で「検査の重点・重要事項」や「指摘の多い事項」といった点を中心に説明が行われました。また、同日「学校法人監査・会計・経営における諸問題と対応」というテーマで、東京会学校法人委員会委員長の黒祐康先生による研修を実施いたしました。

今年度も平成23年2月18日に埼玉県学事課による「幼稚園法人について」の検査指導等の説明と「グループ法人税制」についての研修を予定しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



■ 自治体の首長への表敬訪問 ■

副会長 小山 彰

一昨年の上田清司埼玉県知事と清水勇人さいたま市長への訪問に続き、昨年4月に川合善明川越市長と岡村幸四郎川口市長を下記の通りの日程で相次いで表敬訪問し、県内に事務所を置く公認会計士の団体としての活動状況を報告しました。

なお、荒井会長、東京会役員、埼玉県会役員のほかに地元に事務所を置く会員の皆様にもご同行いただきました。

- ① 平成22年4月6日（火） 川合善明川越市長
訪問者の氏名：蛭川東京会副会長、荒井会長、坂本、小山、西川、佐野、佐久間、深谷、米田、長岡各会員（以上10名）
- ② 平成22年4月8日（木） 岡村幸四郎川口市長
訪問者の氏名：野崎東京会副会長、荒井会長、小山、佐野、清水、米田、野島、渡部各会員、皆内氏（東京会業務課）（以上9名）



川口市長訪問



川越市長訪問

川越研修報告

常任幹事 猪鼻 正彦

昨年（平成21年）は、会計士フォーラム埼玉大会のため、準備等が難しいという理由でお休みをいただきましたが、本年度は川越研修を開催させていただきました。以前の研修会場に使用していた福祉センターが閉館となったため、東武ホテルを研修会場としました。

講師はファイナンシャル・プランニング1級技能士、トータルライフコンサルタントの吉村 正氏に「中小企業の銀行との付き合い方」というテーマでご講演いただきました。最近の円高の話から始まり、中小企業経営者が銀行とどう付き合うか、さらには顧問である公認会計士・税理士の役割といった、私どもの日頃の業務に関係する内容でした。参加された方々も熱心に受講されているのが感じられ、久々の川越研修、好評だったと思います。今後も個人会計士の関心あるテーマを選んで（実はこれが毎回たいへんなのですが）、川越研修を続けてまいります。





研修会・忘年会



日本スリーデーマーチ



よろず相談会反省会



新公益法人制度勉強会



新公益法人制度移行セミナー



新公益法人
制度相談会



総務

副会長
小山

彰



新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉県会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

私が荒井会長のもとで総務を担当させていただくようになりまして、2年目も半ばにさしかかっています。本年も埼玉県会の基本方針のもと、諸施策を着実に実行して参りたいと思いますので、会員の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、平成22年度は、私ども埼玉県会が埼玉友好士業協議会の幹事会でございます。昨年11月に「暮らしと事業のよろず相談会」、親睦ゴルフ大会をそれぞれ県会の会員の皆様のご協力をいただいて事前準備から当日の運営までを行い、無事開催することができました。あらためて御礼申し上げます。

推薦状況

推薦月	団体名	内容	人数等
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	4名～5名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名(登録)
	さいたま市産業創造財	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名(登録)
平成21年4月～22年3月			
5月	所沢市	指定管理者選定委員会委員	3名
4月	埼玉県福祉部	埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会委員	1名
	埼玉県総務部	埼玉県熊谷地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議の委員	1名
	さいたま市	さいたま市指定管理者選定委員会委員	1名
5月	所沢市	所沢市指定管理者選定委員会委員	1名
6月	弁護士事務所	民事再生にかかる公認会計士	1名
8月	埼玉県都市整備部	平成21年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県企画財政部	埼玉県指定管理者検証委員会委員	1名
	埼玉県信用保証起用会	「創業・再挑戦・再生審査会」委員	1名
10月	さいたま地方務局	公益サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員	1名
	埼玉県総務部	埼玉県公益法人認定等審査会の委員改選に伴う委員候補者	1名
11月	埼玉県農林公社	埼玉県農林公社の外部監査に係る公認会計士又は監査法人	1名(監査法人)
12月	日本赤十字社埼玉支部	監査委員	1名
	埼玉県	平成22年度包括外部監査人候補者	1名
1月	農林水産消費安全技術センター	契約監視委員会委員	1名
	埼玉県廃棄物指導課	専門委員会委員	1名
2月	所沢市	指定管理者選定委員会委員	2名
3月	埼玉県保健医療部	埼玉県立大学の監事	1名
	埼玉県社会福祉事業団	監事候補者	1名
3月	川越市	川越市廃棄物専門委員会委員	1名
	農林水産省(東京会取り纏め)	関東農政局入札等監視委員会委員	1名
平成22年4月～			
4月	埼玉県総務部	埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議の委員	1名
6月	川越市	川越市公開事業点検に係る点検人	1名
	埼玉県保健医療部	埼玉県県民健康福祉村指定管理者候補者選定委員会委員	1名
7月	埼玉県福祉部	埼玉県の公の施設における指定管理者候補者選定委員会委員	2名
	埼玉県環境部	埼玉県環境部指定管理者候補者選定委員会委員	1名
8月	埼玉県都市整備部	平成22年度埼玉県営後援指定管理者選定委員会委員	1名
	埼玉県福祉部	埼玉県社会福祉総合センター指定管理者選定委員会委員	1名
	埼玉県	埼玉県長瀬総合射撃場クレール射撃場のあり方検討委員会委員	1名
	埼玉県	埼玉県防災学習センター指定管理者選定委員会委員	1名
9月	埼玉県教育局	埼玉県青少年総合野外活動センター選定委員会委員	1名
	さいたま地方務局	公共サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員	1名
10月	埼玉県	指定管理者候補者選定委員	1名
	埼玉県教育局	埼玉県立げんきプラザ指定管理者選定に係る審査委員	1名
11月	所沢市	平成23年度所沢市包括外部監査人候補者	1名
	埼玉県社会福祉事業団	外部監査人	1名
11月	埼玉県住宅供給公社	外部監査人	1名
	埼玉県教職員互助会	外部監査人	2法人

なお、この埼玉友好士業協議会の行事としましては、本年7月に定例総会の開催を予定しております。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、一昨年に東京会の理事会で承認された「東京会組織ガバナンス改革」の中で、県会の分離独立（県会の地域化）ということが検討課題となっていました。他県会でも検討委員会を設けてこの議論を始めた県がありますし、私ども埼玉県会でも本格的に議論すべきだと考えています。まずは、独立すべきか否かの議論すなわち独立することのメリット・デメリットは何なのかについての議論から始め、もし独立するとするならどのような問題点があり、それをどう解決すべきか、またどのようなプロセスを経て独立を進めていくかなどについて考えてみたいと思っています。そのために将来の埼玉県会のあるべき姿を、できるだけ多くの会員の皆様と十分に話し合う必要があると思っています。

そして、本年も埼玉県の各種団体への広報活動、公会計などへの取組みを積極的に進め、会員相互の情報交換、研修、親睦をさらに図って参りたいと考えています。本年も会員の皆様の積極的な会務への参加をお願いいたします。

業務

常任幹事
深谷

豊



新年明けましておめでとうございます。

県会会員の皆様方におかれましてはご健勝にて和やかに新年を迎えられていらっしゃることをお喜び申し上げます。

さて、県会といたしまして別記の推薦状況に記載のように業務推薦を行ってきました。

今後も、県会会員の皆様に多くの業務の推薦ができればすよう関係機関とも連絡を密にしていきたいと思います。会員の皆様方には是非県会の活動にご理解をいただき、少しでも県会会務・活動にご参加いただければ幸いです。

なお、県会といたしましても今後も推薦台帳の整備を図って業務推薦を実施していきたいと思っておりますので、希望者は事務局に申し出ていただきますようお願いいたします。

本年も会員の皆様のご健勝をご祈念いたしますとともに、今後のご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局

池本 和子



会員の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は新公益法人制度移行セミナー、埼玉友好士業協議会の各種行事にご協力を賜り御礼を申し上げます。事務局として至らぬ点多々あったと存じます。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

研修

副会長
西川 正純



新年あけましておめでとうございます。

県会員の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

埼玉県会では、会員の皆様に「県会会場での研修に参加すれば、C P E 40単位を取得できる。」を目標に研修スケジュールを組んでおります。また、研修会場がいつも大宮となっていますので、年に1回ですが西部地区の川越で研修会を開催しています。研修テーマにつきましても、できるだけ会員の皆様の興味のある研修テーマや、実務に役立つ研修テーマを取り入れるよう考えております。研修テーマとしてご希望がございましたら、県会事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

また、昨年度は、埼玉県会による地域貢献の一環として、埼玉県内の公益法人に対して公益法人制度改革による移行申請の研修会を実施しました。

今後も、会員研修の充実と並行して、地域貢献の研修活動も計画していきたいと考えております。

広報

常任幹事
河合 明弘



平成22年度の公認会計士試験では、16歳の高校2年生の長谷川君が史上最年少合格を果たしました。

テレビでもこの話題はかなり大きく報道されたようで、公認会計士の認知度は一気に上がった気がします。

私の関係するクライアントも皆さんご存知で、この最年少合格の話で結構盛り上がりました。また、地元の人からは「公認会計士って合格率8%しかないんだって。凄いねえ。儲かるんだってね。テレビでやってたよ。」と、内容の正否はともかく今まで言われた事の無い事を言われました。やはりテレビの力は大きいですね。

合格した長谷川君には、「会計士業界の石川遼君」のような存在となり、公認会計士の社会的認知度及び有用性をより広めて欲しいと思います。公認会計士登録後には、我が埼玉県会へ入会してもらえないか、と広報担当として真剣に思っている今日この頃です。

本年もどうぞよろしくお願いします。

親睦

常任幹事
長谷川俊晴



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は会員の皆様にはひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。昨年からは親睦を担当させていただいております。

埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ会の当番幹事を担当し、ゴルフを嗜まない会員の方々にもご協力いただき無事終了したことを厚く御礼申し上げます。団体戦成績は残念ながら不本意な結果となりましたが今年は優勝を狙いたいと思います。

今年も親睦ゴルフ会、日本スリーデーマーチの他に、なかなか実現しなかった、大人の社会科見学ツアーや季節の風景ツアーなど旅行を実現したいと思いますので今後とも皆様の倍旧のお引き立てをお願い申し上げます。

会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

平成22年度 実績及び予定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
4月9日	月次勉強会（監査の品質管理研修）	県会事務所	10名	集合研修DVD	2
6月11日	本部全国研修会	県会事務所	7名	（ライブ配信）	4
6月24日	本部全国研修会	県会事務所	9名	（ライブ配信）	4
6月26日	定期総会	ソニックシティ	60名	—	1
	研修会（知っておきたいIFRSの基礎知識）	ソニックシティ	57名	吉田健太郎氏	3
7月1日	公益法人勉強会第1回	県会事務所	32名	平山孔嗣氏	2
7月29日	公益法人勉強会第2回	県会事務所	28名	西川正純氏	2
8月3～4日	夏季全国研修会①	県会事務所	98名	（ライブ配信）	12
8月17日	公益法人勉強会第3回	県会事務所	31名	河合あゆみ氏他	3
8月19～20日	夏季全国研修会②	県会事務所	65名	（ライブ配信）	12
8月31日	実践！「新公益法人制度」移行セミナー	ソニックシティホール	162名	佐竹正幸氏他	3
9月7日	公益法人制度の認定・認可に係る研修会	県会事務所	23名	荒井伸夫氏	3
9月24日	月次勉強会（職業倫理に係る具体的な諸規則と事例）	県会事務所	14名	集合研修DVD	2
10月6～8日	秋季全国研修会	県会事務所	59名	（ライブ配信）	18
10月23日	巡回研修会川越大会（中小企業経営者の銀行との付き合い方）	川越東武ホテル	17名	吉村正氏	3
11月26日	月次勉強会（中小企業における事業承継対策の事例及びその税務上の効果や影響について）	県会事務所	10名	集合研修DVD	4
12月7～10日	冬季全国研修会	県会事務所	64名	（ライブ配信）	24
12月18日	研修会（①企業価値評価上の論点、②現在の公認会計士を取り巻く問題）	ソニックシティ		坂上信一郎氏 山崎彰三氏	4
1月11日	新春全国研修会	県会事務所		（ライブ配信）	6
2月18日	研修会（学校法人会計）	ソニックシティ		埼玉県学事課、他	4
3月23～25日	春季全国研修会	県会事務所		（ライブ配信）	18
平成22年度合計					134

平成23年度 予 定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
4月未定	月次勉強会（テーマ未定）	県会事務所		集合研修DVD	2
	定期総会	未定		—	1
6月25日	研修会（テーマ未定）	〃		未定	3
7月1～3日	研修会親睦旅行	〃		〃	



女神論 －女神はいるのか？－

伊藤 英明

出雲にて滞在中（昨年11月5日－7日）からの心境を書き綴ったため、かみさんを含めてかみ（神）の話が中心になることをお許しいただきたい。ちなみに、出雲では10月を神有月と呼び、出雲以外の地では神無月と呼んでいる。出雲では、旧暦でいうので昨年は11月6日から神有月は始まった。

① 不思議なことが3度あると…！

不思議なことが3度あると、それは必然なのかと考える。その必然に至る理由を、自分にわかりやすくするために仮説をたててみる。そんな習性が、小生にある。

3位のチームが、プロ野球でリーグ優勝した。クライマックス・シリーズで土壇場に追い込まれてからの逆転で勝ち上がってきた。アレッ！と思った。そのチームのオーナー（代行）が、昨年4月1日に新公益法人となったある法人の理事会で、小生の前に座っていたせいだ。

でもまだ…。日本シリーズで優勝したら！？考えればいい…。と思った。

② 11月7日の2つの出来事

鳥取県の米子駅の街頭テレビで、立ったまま日本シリーズの第7戦を見た。6対2で中日がリード。…中日投手陣の抑えの戦力。前日の壮絶な延長引分け（2対2）。今日中日が勝つと、3勝3敗。ロッテ、中日のどちらが優勝するか？混トンなるな。…そう考えて立ち去った。（後日、ロッテが逆転勝利したことを知り、おどろいた）

時計は戻る。朝7時からの朝食のとき、食卓をご一緒した西谷正先生（前日本考古学会会長、出雲での現地解説）に、なぜかしら小生が女神のことを話した。

ロッテが優勝したら、女神と会っていただきたい！その女神は若い時に考古学を志した。考古学を志した夢の起源について話し合っていたきたい！！と、お話しした。

③ キッカケは？

南アフリカで開催されたワールド・カップ中の小さな新聞記事がキッカケだった。その女性が、日本チームの決勝リーグ進出がかかっている第3戦のデンマーク戦の応援に急遽現地入りした。日本はデンマークに勝てるのか？小生の懸念に対し、結果は3－1の快勝！その女性の紹介により、新年度から新公益法人の副会長に就任した方が、野球チームのオーナー（代行）でもある方だった。

④ 気がつく

スーパーパワーを持つ女性のおかげで、女神はいると思ったとき、ふしぎなことに気がついた。世の中には、ゴマンと女神がいるのだ！仕事でお世話になっている女性も然り。いまりハビリを手伝っているおちびさんの3歳のわがマゴも、ひょっとして女神？ になるのかも。

そう思ったとき、かみさんをはじめ、多くの女神に助けられて、いまあることに素直に感謝したくなった。



埼玉県のマスコット コバトン



地域で働く 会計士として

小宮山 栄

私が埼玉県にて会計士として働き始めたのは、平成12年3月に当時の太田昭和監査法人の埼玉事務所に勤務してからである。埼玉県会の誌面ということで、わたしが埼玉県で勤務してから今までのことをふり返ってみたい。

当時の事務所の顧客は専ら株式公開準備会社であり、業種もITをはじめ建設業、製造業、小売業、サービス業、遊技業と多岐に渡っていた。また、埼玉県の包括外部監査や金融機関の監査も行っており、そのような通常の業務の隙をぬって、ベンチャー財団等からの依頼でショートレビューを実施していた。所長以下6名程度の所帯であったので、定期的に人を募集していたが、なかなか採用できなかったのも当時の状況であり、今からは考えられないが、慢性的な人手不足の時期であった。

平成13年から15年にかけては、所属する監査法人の名称変更や3市合併、さいたま市の政令指定都市への移行等で、ほぼ毎年名刺を新しくしていた。平成14年度には埼玉県の出資法人に対する外部監査制度が始まり、いくつかの出資法人の監査を受嘱したためますます忙しくなったが、少しずつ事務所の職員が増えてきたのもこの時期であった。またこの頃から、私が入所した当時より公開準備支援を行っていた会社が新興市場への上場を果たしていった。

埼玉県で仕事をしているという実感を持ったのは、県よりさる業務を受嘱し、秩父にある4～5か所の水力発電所を1日かけて回ったときである。比較的新しい発電所もあったが、古いものは昭和30年代に開設されたものもあり、そのような古い発電所が十分に機能していることや、秩父に県のこのような施設があることを初めて知った業務で非常に印象深かった。

やはり秩父にある県の研修施設に泊まり込んで県職員の方に簿記の講義を行ったことも記憶に新しい。施設はホテル並みに立派なもので、場所が場所だったため行きの電車の中からちょっとした旅行気分だった。このときは聴講にいらしていた県庁の方から埼玉県の市町村向けに新地方公会計制度のセミナー開催を依頼されたため、監査法人本部のこの方面の専門会計士とのコラボレーションで、資産評価と連結の手法に論点を絞りセミナーを行った。県内のほぼ全市町村の担当者が出席され、地元埼玉県に対する貢献がわずかながらできた実感した業務だった。

所属する事務所職員も順調に増え、私の業務も監査現場における直接業務より間接業務が増えた頃、公益法人の制度改革が始まった。あまり馴染みのなかった分野であったが、事務所においては私がこの制度改革の担当者として研修の開催や、支援業務に関わることとなった。制度を理解するのが大変だという実感はあったが、実際に制度改革対応支援業務を始めると、最初はわからないことだらけで四苦八苦する状況に陥ることがしばしばであった。この業務においては県内に多数の公益法人があり、それぞれにおいて多様な社会貢献を行っていることが理解できた。厳しい財政でやりくりしている法人も多く、この制度改革の対応支援業務を通じて間接的に地域貢献の一助となるべく、事務所として活動中である。

平成22年の春からは、事務所長が県の包括外部監査人に選任されたことに伴い、私も補助者として包括外部監査に関わることになった。この業務においては県政を深く知ることができたが、県のために何を伝えればいいのか、現在模索中である。また、しばらくご縁のなかった県の指定出資法人の監査も再開し、当該法人監査の現場主査も担当している。

この数年で従来さほど興味を持たなかった公会計・非営利法人会計が身近になり、否応もなく対応することになったが、これも地域で働く会計士としては避けては通れない業務であり、またこれらを通じて地元に貢献することが大切なことであると、会計士人生の折り返し地点を迎えた今日この頃、実感する次第である。



埼玉県包括外部監査人 (平成20年度、平成21年度) に就任して

佐野 勝正

平成19年12月に、埼玉県の総合政策部改革政策局から埼玉県会に対し、平成20年度の包括外部監査人の推薦依頼がなされた。

その当時、日本公認会計士協会の各地域会は、地方自治体からの包括外部監査人の推薦依頼に対し苦慮していたが、埼玉県会も例外でなく、県会執行部は、推薦依頼に責任を持って応えていくためには、県会で包括外部監査人の予備軍を一人でも多く育成していくことが急務であり責務であると考えていた。

このこともあったのであろうか、当時の県会会長である宮原敏夫先生から埼玉県の包括外部監査人の候補者として推薦したい旨の打診を受けた。宮原先生のお考えの背景には、小生が平成15年度から3年間、川越市の包括外部監査人をしてきたことがあったのではなかろうか。

打診に際し、川越市の場合は、補助者になっていただいた川越市在住の県会会員の精力的なサポートにより任務を全うできた。県の場合にも、同様な体制を組めない限り包括外部監査を行っていくことは難しいことを宮原会長に伝えたところ、県会が全面的なバックアップをするとの言葉をいただき、県の包括外部監査人へ応募した。

応募に際しては、補助者を確保することが最大の課題であったが、幸いなことに、現県会執行部の方々が快くお引き受けいただき、応募書類を県に提出することができた。包括外部監査人の任務を全うできたのも、メンバーとなって大いに活躍していただいた、小山彰先生、佐久間仁志先生、土屋文実男先生、金井千尋先生、河合明弘先生、池田博行先生、大野夏美先生のおかげである。あらためてお礼を申し上げたい。そして翌年、改革政策局の行政監察幹（平成21年度の組織改正により、同年度より行政監察幹は包

括外部監査には関与していない。）によるヒアリングを経て、最終的に平成20年度の包括外部監査人に内定し、3月の県議会で承認された。

包括外部監査においては監査テーマの選定が重要であることから、県の全庁的なヒアリングを行うに当たり、元県代表監査委員の坂本隆信先生と前任者である佐渡一雄先生から貴重なアドバイスを事前にいただき、県の担当者から県の組織、財政状態、特定の事業の概要の説明を受けた。更にこれまでの傾向を踏まえ、結論として、出来る限り全庁的にわたるもので、調査結果を県の資料として活用していただけるものを選定することにした。ただし、このことは、監査対象とした事業は網羅的に調査対象とすることを意味する。調査だけでなく報告書とりまとめにも時間を要し、メンバーに多大な負担がかかるため、皆で協議を行い、賛同を得たのが、次の監査テーマである。

平成20年度は、「貸付金に係る財務事務の執行について」と「損失補償・債務保証に係る財務事務の執行について」を監査テーマとして選び、7月から監査を進め、翌年3月に前者は232ページ、後者は155ページの報告書を完成させ、上田知事様他県関係者に報告した。

翌年度は、「公の施設の管理及び指定管理者制度の事務の執行について」を監査テーマとして選び、7月から監査を進め、翌年3月に403ページの報告書を完成させ、前年同様、上田知事様他県関係者に報告した。

小生の評価として、メンバー各位が精力的に調査を行い、県及び外郭団体の担当者と真摯に向き合い質疑応答と討議を重ねた結果まとめた報告書は、活用度があると考えたが、全国市民オンブズマン連絡協議会の包括外部監査評価班が作成している「包括外部監査の通信簿」による評価では、平成20年度は第2テーマが「要改善」であった。翌年度は、メンバーの頑張りにより「活用賞」の評価となり、県会の期待に沿えたと思っている。

最後に、県庁の耐震工事で使用可能な部屋が例年より減っている状況にもかかわらず、専用の執務室の確保と備品・事務用品等の提供、円滑な監査の遂行にお骨折りいただいた改革政策局の方々に深くお礼を申し上げたい。

日本公認会計士協会埼玉県会 平成22年度役員名簿

(H22.11.1現在)

役 員 名	氏 名			
会 長	荒井 伸夫			
副 会 長	小山 彰 (総務)	平山 孔嗣 (親睦)	佐久間仁志 (広報)	
	佐野 勝正 (業務)	西川 正純 (研修)		
監 事	内田 俊二	櫻井 茂		
常任幹事	大野 夏美 (総務)	河合あゆみ (総務)	田山 毅 (親睦)	
	長谷川俊晴 (親睦)	河合 明弘 (広報)	土屋文実男 (業務)	
	深谷 豊 (業務)	猪鼻 正彦 (研修)	金井 千尋 (研修)	
幹 事	飯野 浩一	大谷 益世	岡庭 武利	賀川寛一郎
	長島 良亮	原口 博	村田 憲司	清水 秀雄
顧 問	鈴木 義夫	多田 広光	堀 一男	藤野 廣治
	山本 清次	三間 邦夫	蛭川 俊也	吉島 一良
	熊木雄太郎	宮原 敏夫		真下 和男
				坂本 隆信
相 談 役	石山 豊	海野 亀男	稲山十四助	

埼玉県内に事務所を有す監査法人

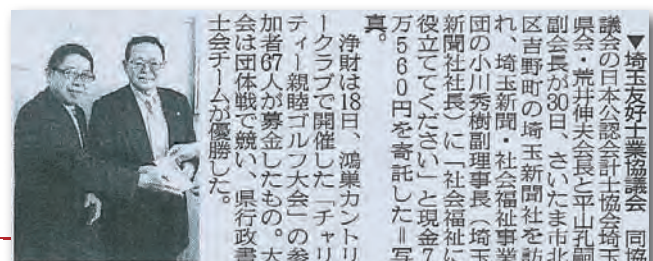
有限責任あずさ監査法人北関東事務所
監 査 法 人 ク ラ リ テ イ
さくら萌和有限責任監査法人さいたま事務所
至 誠 監 査 法 人 熊 谷 事 務 所
新日本有限責任監査法人さいたま事務所
有限責任監査法人トーマツさいたま事務所

◆ 埼玉県会の活動が
新聞に掲載されました ◆

2010. 7. 1 埼玉新聞



2010. 9. 2 埼玉新聞



2010. 12. 1 埼玉新聞

今年度も、埼玉県会CPAニュース第8号を発行することができました。本号も、昨年同様、20ページの内容の濃いものとなりました。原稿、写真等ご協力ありがとうございました。

さて、私ごとで申し訳ありませんが、昨年、生誕50周年を迎えたこともあり、東松山スリーデーマーチで、50キロコースに挑戦し、なんとか完歩できました。午前6時から歩き出し、午後3時にはゴールしました。はっきり言って疲れしました。ゴール後に県会の打ち上げに合流しましたが、乾杯のビールの美味しかったこと、また来年も50キロやるか、密かに決意したのでした。次の日、筋肉痛で大変な目に会いましたが…。

この行事、最初は色々考えながら歩いたのですが、ある程度の距離に達すると「歩く」ということ以外に思考が働かなくなりました。あと何キロ歩く？あと何分で歩く？単純なことですが、何時間も思考が一点に集中する機会そんな経験できるものではありません。いわば無心状態です。情報が氾濫し過ぎている今日では、無心になることも必要のような気がします。そして当たり前のことですが、どんなに長い距離も一歩から始まります。

新年の第一歩、どこをめざそうか、とりあえず無心な気持ちで初詣ですかね。今年は50キロ歩いても筋肉痛にならないように、なるべく身体を動かすことを新年の目標にしましょうか。

(仁)



昨年夏に結婚10年周年を迎えました。実は2人とも大学時代にはスキースポーツの同好会に入っていて、年間30日～60日は滑っていました。しかし、知り合ってからスキーに行ったことはありませんので、当然にお互いの滑りを見たことがありません。

社会人になって、怪我の恐れのあるスポーツは避けてきました。ところが最近、2人とも「全国学生岩岳スキー大会」にも出場していた事が判明しました。さらに、テレビで同世代のクルム伊達選手の素敵な笑顔を見ていると、なんだか体がムズムズしてきました。

そこで、今年は家族でスキーに行こうと計画しています。「身長プラス20～30センチ」と言われていたスキーの長さも、いつの間にか身長より短くなり「カービングスキー」というものになっているようです。

約20年ぶりのスキーですので、怪我だけには注意し、スキーを通じてお互いを見つめ直すいい機会になればいいな、と思っています。

皆様も何かに再挑戦してみませんか？今年が皆様にとって、良い年でありますように！ (明)



日本公認会計士協会 埼玉県会
〒330-8669
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル8F
TEL: 048-644-9050 FAX: 048-644-9054
E-Mail: kenkai@jicpa-saitama.jp
URL: http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース

発行人: 埼玉県会会長 荒井伸夫
編集人: 副会長広報担当 佐久間仁志
構成: 常任幹事広報担当 河合明弘
印刷所: 株式会社 正文社
写真提供: 平山孔嗣

日本スリーデーマーチ(表紙)